

小平市公共施設マネジメント推進計画（2022-2031）骨子案市民説明会（報告）

1 目的

小平市公共施設マネジメント推進計画（2022-2031）の骨子案策定にあたり、市民説明会を開催した。

策定の背景、基本的な考え方、主な検討課題等について説明し、意見交換を行った。

2 参加状況

①	7月18日（日）	14時～15時	中央公民館講座室2	12名
②	7月23日（金・祝）	10時～11時	小川西町公民館ホール	6名
③	8月1日（日）	10時～11時	東部市民センター集会室	7名
			ズーム参加者	3名
				延べ28名

3 主な意見等

(1) 策定に向けた基本的な考え方に関するもの

① 学校の統合・配置の考え方に関するもの

ア 教育的要素について、小・中連携についてしか触れられていなかったが、最近では小学校の学級編成基準が改正されていたり、普通教室を広くしたほうがいいという提言も出ていたり、大きな変化が起こっている状況の中で、そのような大きな変化に対応した考え方が入っていないようだが。

イ 若い人を呼び寄せるための政策や、まちづくりをどうするのか、というような観点を含めた形での考え方も入れていく必要があるのではないかと。

ウ 児童・生徒推計と実態に大幅な乖離が見られた場合は学校の統廃合の計画についても見直しを行うのか。

② 学校の複合化に関するもの

ア 小学校を核とした、新たな地域拠点とコミュニティの創出、地域コミュニティの醸成を見据えるとあるが、具体的にはどんなことを考えているのか。仲町テラスの例もあるので、利用者の意見を十分に聞いてほしい。

イ 現状でも不審者への対応は難しいと考えているが、複合化されると人の出入りの管理が今まで以上に難しくなると思う。具体的な対策は考えているのか。

ウ 公民館等の地域対応施設を小学校に複合化して拠点化を図ることは、高齢化していく時代に逆行することになるのではないかと。

(2) 主な検討課題に関するもの

① 期別縮減目標の見直しに関するもの

ア 延べ床面積の縮減目標は、今ある建物を縮減するというのか。それともこれから作るものを縮減するというのか。

② 新型コロナウイルス対応に関するもの

ア 新型コロナウイルスについては緊迫の課題であり、最初の小学校の統合については20年後ということであるので、その時にはもう流行は収まっていると予測されるので、学校の統廃合についてはあまり重要視しなくてもよいのではないかと思う。既存の施設における換気設備や非接触設備の設置についてはスピード感を持って進めていくべきだと思う。

③ 財政見直しに関するもの

ア 建替えにおける費用について、国や都からの補助金はあるが、市の負担の必要もあり、財政状況が厳しい中でどのように対応していく考えか。

(3) 骨子案に関するもの

① 基本的事項に関するもの

ア 「長く活用できる施設」とは、具体的にどのようなものか。

② 学校統合ブロック案に関するもの

ア 統合後の通学区域の中で一番遠くなる児童・生徒の通学時間はどのくらいになるのか。

イ 十小は、過去に四小の児童が通学途中で五日市街道で交通事故にあったためにできたという経緯があると聞いているが、安心・安全という観点の検討は行っているのか。

ウ 統合ブロック案に含まれていない学校についてはその場所に残るということか。

エ 統合ブロック案の図に公民館や地域センターも入れた方が良いと思う。

(4) その他

① 図書館、公民館、地域センターの統廃合についての計画はないのか。

② 小平市の公民館、地域センターは、誰もが歩いて行ける場所がほしいということで今の形になっている。今後十一小に花小金井北地域センターが統合されるということになれば、今より遠くなってしまう利用者がいるので、地域住民の声をしっかりと聞いてほしいと思う。

③ 花小金井北公民館には紙芝居サークルの紙芝居を置かせてもらっているが、十一小に複合化された際にも置かせてもらえるのか。

④ 現在、公民館には茶道に使える畳の部屋があるが、新しい施設にも作っていただきたい。

⑤ 施設を小平市の資産としないということは検討したのか。

4 その他

広報は、市報こだいら7月5日号、市ホームページ、ポスター、ちらし、周辺自治会への案内を行った。

第3回(8月1日)には手話通訳(2名)を配置した。